品種特性一覧表

科	種類	品種 品種名と商品名が異なる場合は、品種名を（ ）書きで記載しています。	ページ	草丈 (cm)	乾物収量 (kg/10a)	施肥量目安 (kg/10a)	播種量 (kg/10a)	播種期(月・旬) 寒・高冷地	播種期 一般地	播種期 西南暖地
イネ科	アクェナ ストリゴサ（エンバク野生種）	ヘイオーツ	14	100～120	500～800	0 または N5	10～15	4上～6上 8中～9上	3～5月、8下～9中 10中～11上	2下～5上、8下～9下 10下～11下
	エンバク	スナイパー PVP※	15	100～120	500～700	0 または N5	8～10	8中～9上	8下～9中	9月 雑草9下～10上
		とちゆたか	15	100～130	600～800	0 または N5	間作3～5 散播8～10	4上～6上 8中～9上	3～5月、8下～9中 10中～11上	2下～5上、8下～9下 10下～11下
		たちいぶき	14	100～120	500～700	0 または N5	6～8	－	8下～9上	8下～9上
	ライムギ	R-007（品種 ウィーラー）	16・32	120～140	600～900	0 または N5	6～8 線虫対策10～15	3下～5上 9上～10中	2下～4下 9下～12上	1下～3下 10～12月
		緑春Ⅱ（品種 レンズアブルッツィ）	17	120～140	600～900	0 または N5	6～8	3下～5上 9上～10中	2下～4下 9下～12上	1下～3下 10～12月
	ライコムギ	ライコッコ4（品種 T100）	17	110～130	600～900	0 または N5	防風利用 条播3～5	－	10中～11中	10下～11下
	アニュアルライグラス	フェアウェイⅢ（品種 クイックドロー）	32	100～120	600～800	0 または 基肥N3、追肥N4～5	4～5	9上～10中	9下～10下	2下～3中 10上～11中
	イタリアンライグラス	エース	32	100～120	600～900	0 または N5	4～5	9上～10中	9下～10下	2下～3中 10上～11中
	ソルガム	つちたろう（品種 ジャンボ）	18	280～330	700～1,000	0 または N5	5	5下～7下（露地） 5～7月（ハウス）	5中～8中（露地） 5～8月（ハウス）	5上～9上（露地） 5～8月（ハウス）
		短尺ソルゴー	18	150～200	－	0 または N5	防風利用 条播1 散播4～5	5下～7下（露路） 5～7月（ハウス）	5中～8上（露路） 5～8月（ハウス）	5～8月 （露地・ハウス）
		グリーンソルゴー（品種 スーパーダン）	19	160～210	700～1,000	0 または N5	4～5	5下～7下（露地） 5～7月（ハウス）	5中～8上（露地） 5～8月（ハウス）	5～8月 （露地・ハウス）
		テキサスグリーン	19	160～210	700～1,000	0 またはN5	4～5	5下～7下（露地） 5～7月（ハウス）	5中～8上（露地） 5～8月（ハウス）	5～8月 （露地・ハウス）
	スーダングラス	ねまへらそう（品種 スーパーダン2）	19	250～300	600～900	0 または N5	5	5下～7下（露地） 5～7月（ハウス）	5中～8上（露地） 5～8月（ハウス）	5上～8中（露地） 5～8月（ハウス）
	パールミレット	ネマレット（品種 ADR300）	20	200～250	1,000～1,500	0 または N5	4	6上～7下（露地） 5～7月（ハウス）	5下～8中（露地） 5～8月（ハウス）	5中～9上（露地） 5～8月（ハウス）
	ヒエ	青葉ミレット	21	100～150	500～1,000	0 または N5	3～5	6上～7上	5中～7中	5中～7下
	ギニアグラス	ソイルクリーン	21	200～250	600～800	0 または N5	条播0.3～0.5 散播1～1.5	6下～7上（露路） 5～7月（ハウス）	6上～8上（露路） 5～8月（ハウス）	5中～8中（露路） 5～8月（ハウス）
		ナツカゼ	21	220～240	500～800	0 または N5	条播0.3～0.5 散播1～1.5	6下～7上（露路） 5～7月（ハウス）	6上～8上（露路） 5～8月（ハウス）	5中～8中（露路） 5～8月（ハウス）
	オオムギ	らくらくムギ（品種 ラマタ）	22・51	20～30 （自然草高）	100～200	0 または N5	間作3～5 散播8～10	5中～6下 4)	4上～6中	3下～5中
	テフグラス	トップガン	22・33	80～100	400～500	0 または N5	1～2	6上～7上	5中～7中	3下～9下
	オオナギナタガヤ	ゾロ	32	40～70	－	0 または 追肥N0～5	2～3	9月	9中～10中	9下～11上
	ケンタッキーブルーグラス	マーキュリー	33	50	－	N・P・K各5	3～5	4～5月 8下～9下	3中～4下 9下～10上	－
	トールフェスク	ダイナマイトG-LS	33	50～70	－	N・P・K各5	5～10	4～5月 8下～9下	3中～4下 9下～10中	2下～4上 10上～11上
	バミューダグラス	ピラミッド2	33	20～40	－	N・P・K各5	5～10	－	5下～7中	5～7月
	クリーピングベントグラス	CY-2（品種 シーワイツー） PVP※	35	50～80	－	N5	20	8中～9上	8下～9中	－
	センチピードグラス	サンティ	35	20～30	－	N5	10～15	－	5下～8上	5上～8下
マメ科	ヘアリーベッチ	藤えもん（品種 マッサ）	23・33	30～50 （自然草高）	300～600	0 または N 0～2、P・K各5	3～5	4上～5上、8中～9上 9上～10中 2)	3上～4上、8下～9中 9中～11上	2中～3下、9月 9下～11下
		まめ助（品種 ナモイ）	23・33	30～50 （自然草高）	300～600	0 または N 0～2、P・K各5	3～5	4上～5上、8中～9上 9上～10中 2)	3上～4上、8下～9中 9中～11上	2中～3下、9月 9下～11下
		寒太郎（品種 サバン）	23・33	30～50 （自然草高）	300～650	0 または N 0～2、P・K各5	3～5	4上～5上、8中～9上 9上～10中	3上～4上、8下～9中 9中～11上	2中～3下、9月 9下～11下
		ハングビローサ	23	30～50 （自然草高）	300～650	0 または N 0～2、P・K各5	3～5	4上～5上、8中～9上 9上～10中	3上～4上、8下～9中 9中～11上	2中～3下、9月 9下～11下
	ベルシアンクローバ	まめ小町（品種 Mame-Komachi）	24	30～80	300～600	0 または N 0～2、P・K各5	2～3	4上～5上、8上～9上 9上～10上 2)	3上～4上、8下～9中 9中～10中	2下～3下、9月 9下～10下
	クリムソンクローバ	くれない	25	30～60	300～600	0 または N 0～2、P・K各5	2～3	4上～5上、8中～9上 9上～10上 2)	3上～4上、8下～9中 9中～10中	2下～3下、9月 9下～10下
	レンゲ	レンゲ	25	30～50	200～300	0 または N 0～2、P・K各5	3～4	8中～9上 2)	9上～10上	9中～10下
	クロタラリア スペクタビリス	ネマックス	26	120～150	300～500	0 または N 0～3、P・K各6	6～9	7月（露地） 6～7月（ハウス）	5下～8上	5上～8中 2下～9下 （沖縄・奄美諸島）
	クロタラリア ジュンシア	ネマコロリ	26		400～600	0 または N 0～3、P・K各5	6～8	7月（露地） 6～7月（ハウス）	5中～8上	5上～8中 2下～9下 （沖縄・奄美諸島）
	セスバニア	田助	27	150～200	400～600	0 または N 0～3、P・K各5	条播4、散播5	6中～7中	5下～7下	5上～8中
	シロクローバ	アバパール	32	10～20	500～700	N・P・K各5	2～3	4中～5下 8下～9下	3中～4下 9下～10中	2下～4上 10上～11上
その他	カラシナ	辛神 PVP※	28	100～160	400～800	0 または N・P・K各5	1	4～5月 3) 8下～9上	3～4月 3) 10中～11上	2～3月 3) 10下～11中
	シロガラシ	キカラシ（品種 メテックス）	29	80～120	400～800	0 または N 0～2、P・K各5	2～3	4上～5中 3)	3月 3) 11中～12上	2下～3中 3) 11下～12中
	ハゼリソウ	アンジェリア	29	60～80	300～600	0 または N 0～2、P・K各5	2～3	4上～5中	3～4月 11月	2下～3中 11下～12中
	ダイカンドラ	ダイカンドラ	33	10	－	N・P・K各5	5～10	5下～6下	5上～7中	4中～7中
	ヒマワリ	サンマリノ（品種 NSデュカット）	30	140～160	500～800	0 または N・P・K各5	条播1～1.5 散播1.5～2	5中～8上	5上～9上	4中～9中
		NS クルナ（品種 NS Kruna）	30	160～190	700～900	0 または N・P・K各5	条播1～1.5 散播1.5～2	5中～8上	5上～8中	4中～8下
	マリーゴールド	アフリカントール（品種 クラッカージャックダブルミックス）	31	80～100	500～700	0 または N・P・K各5	1～2ℓ	6月 （開花始8中～9上）	5下～7上 （開花始8上～9中）	5上～7中 （開花始7中～9下）
	コスモス	センセーションミックス	31	80～120	－	0 または N・P・K各5	2（4ℓ）	5上～7中 （開花始7上～8中）	4中～7中 （開花始6中～9中）	4中～7中 （開花始6中～9中）
	花類	スノーミックスフラワー花壇用	31	50～90	－	0 または N・P・K各5	20dℓ	5中～7中 （開花始7中～8下）	3下～6下、9上～10中 （開花始5下～6下、4中～10中）	3下～6下、9上～10中 （開花始5中～7上、4中～10下）

すき込み期	線虫抑制 ネコブ サツマイモ1)	ネコブ ジャワ	ネコブ キタ	ネコブ アレナリア	ネグサレ キタ	ネグサレ ミナミ	ネグサレ クルミ	ナミイシュク	ダイズシスト	緑肥作物の効果 窒素固定	塩類除去	土壌保全	透水性改善	防風	景観美化	利用体系 休 開	後 作	ハウス	間作	果樹草生	永年利用	利用例
出穂前後			◎		◎	○						◎	○	◎		◎	◎					ダイコン、ニンジン、ナガイモの線虫対策、キャベツ、ハクサイのアブラナ科野菜根こぶ病対策に。
出穂前後	◎		◎									◎	○				◎					晩夏播きでサツマイモネコブセンチュウ対策に。南九州など秋季温暖な地域では9/中～9/下の播種が望ましい。
出穂前後			◎									◎	○	◎		○	◎					コンニャク、高原野菜の防風・敷わらに。
出穂前後	◎		◎									◎	○				◎					サツマイモの線虫対策に。
～出穂始			◎		○							◎	○	◎		○	◎			◎		秋播きでキタネグサレセンチュウ対策に。春播きで雑草管理や土壌流亡防止に。
出穂前後			◎									◎	○	◎		○	◎			◎		高原野菜や果樹類の敷わらに。 果樹園の草生栽培。
出穂～開花期			◎										○	◎			◎					野菜類の防風・防砂・敷わらに。
出穂前後			◎								◎	○	○				◎			○		果樹下草利用に。
出穂前後			◎								◎	◎	○				◎			○		晩生品種のため、休閑緑肥や果樹下草として長期利用可。
播種50～60日後	◎		◎								◎	○	○	◎		◎	◎	◎				サツマイモネコブセンチュウ対策に。 ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有機物補給に。
播種50～60日後			◎								◎	○	○	◎			◎					ドリフトガード、防風に。
播種50～60日後			◎								◎	○	○	◎		◎	◎	◎				夏の休閑期の有機物補給に。
播種50～60日後			◎								◎	○	○	◎		◎	◎	◎				夏の休閑期の有機物補給に。
播種60日前後	○		◎		○						◎	○	○	◎		◎	◎	◎				根菜類の線虫対策に。
播種50～60日後	○		◎		○							◎	○			◎	◎	◎				ソルガム類のいや地の影響を受けない。 キタネグサレセンチュウおよびサツマイモネコブセンチュウ対策に。
播種50～60日後			◎								○	○	○			◎	◎					水田転作畑や湿害が起きやすい圃場の有機物補給に。
播種50～70日後	◎	◎	◎	○	○						○	○	○			◎	◎	◎				根菜類、果菜類の線虫対策に。
播種50～70日後	◎	◎	◎	○	○						○	○	○			◎	◎	◎				根菜類、果菜類の線虫対策に。
8月以降枯死			○									◎				○			◎			コンニャクの間作利用、ウリ類の下草利用、遊休地の雑草対策に。
最短播種40日後			◎									◎	○			◎	◎	◎	◎	○		茶園・果樹園等でのリビングマルチ利用、飲間利用に。
自然枯死			◎									◎	○							◎		草生栽培、刈取り管理不用で省力化に。
出穂期に刈払い			○									○	○							◎	○	リンゴなどの果樹園の草生栽培に。
出穂期に刈払い			○									○	○							◎	○	リンゴなどの果樹園の草生栽培に。
出穂期に刈払い			○									○	○							◎	○	リンゴなどの果樹園の草生栽培に。
永年利用			○									◎	○		○					○	○	草生栽培、法面に。
永年利用			○									◎	○		○					◎	○	草生栽培、法面に。
適宜（播種60日後以降）									◎	◎		◎	◎		○	◎	◎			◎		遊休地の雑草・地力対策、果樹の草生栽培に。水稲、大豆の前作緑肥に。寒太郎との混播利用でミツバチの蜜源としても利用可。
適宜（播種60日後以降）									◎	◎		◎	◎		○	◎	◎			◎		遊休地の雑草・地力対策、果樹の草生栽培に。水稲、大豆の前作緑肥に。
適宜（播種60日後以降）									◎	◎		◎	◎		○	◎	◎			◎		寒・高冷地での遊休地の雑草・地力対策、果樹の草生栽培に。水稲、大豆の前作緑肥に。
適宜（播種60日後以降）									◎	◎		◎	◎		○	◎	◎			◎		寒・高冷地での遊休地の雑草・地力対策、果樹の草生栽培に。水稲、大豆の前作緑肥に。
秋・春播きは開花期									◎	◎		○	○		◎	◎	◎					景観美化、ダイズシストセンチュウ対策に。
開花期									◎	◎		○	○		◎	◎	◎					景観美化、ダイズシストセンチュウ対策に。
田植え3週間前										◎		◎	○		◎		◎					水田前作緑肥、景観美化に。
播種60～80日後	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	○	◎		○	◎			◎	◎	◎				エダマメ、サトイモ、サツマイモ、果菜類の線虫対策に。
播種50日後	◎		○			○				◎		○	◎		◎	○	◎	◎				果菜類、サツマイモの線虫対策に。
播種50～60日前後										◎		◎	◎			◎	◎					水田転作畑の土壌物理性・透水性改善と地力向上に。
適宜刈払い										◎		○	○		○	○			○	○	○	果樹園の草生栽培に。
前雷～開花始	○											○	○		◎		◎	◎				土壌病害、秋播きでサツマイモネコブセンチュウ対策（茎葉の生草量4t/10a以上必要）に。
開花期												○	○		◎	◎	◎					景観美化、遊休地対策に。
開花期												◎	○		◎	◎	◎					景観美化、土壌流亡防止に。長ネギの前作緑肥に。
永年利用												○	○							◎	○	果樹園の雑作業場所に。
開花期												◎	○		◎	◎	○					短稈早生種。景観美化に。
開花期												◎	○		◎	◎	○					やや大柄のヒマワリ。景観美化に。
定植80～90日後	◎	○		○	◎							○	○		◎	◎	◎					線虫対策に。（栽培日数80日前後必要） 景観美化に。
－												○	○		◎	◎						景観美化、遊休地対策に。
－												○	○		◎	◎						景観美化、遊休地対策に。

◎：おすすめ　○：適する　※海外持出禁止（農林水産大臣公示有）

1）サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。　2）冬期の気候条件によって、越冬割合が異なります（多雪地帯では越冬不可）。
3）虫害の発生が予想されますのでご注意ください。　4）気象条件により枯れあがらない場合があります。